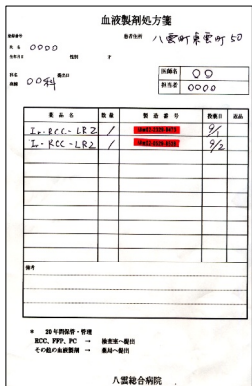


Medical Technology News

LOOK



血液製剤処方箋の保管期間は 20年間以上です



輸血製剤の使用後に提出して頂いている血液製剤処方箋は薬事法で20年以上保管することが義務付けられています。

これは、輸血による感染の可能性が考えられているクロイツフェルト・ヤコブ病(狂牛病)やHIV、未知のウイルスなど、発症までの期間が長期に渡ったり、不明なため感染のおそれが生じた場合に対処するためです。

また、輸血された血液製剤の一部は血液センターで10年以上可能な限り保管されることになっています。

輸血後の感染症について疑問点がありましたら、輸血担当者(内線225)にご相談ください。



睡眠障害(1.2%)、低血糖昏睡(0.4%)、は比率的には少ないものの、10年間約300名が昏睡で死亡しており、

表1. 日本人糖尿病患者の平均死亡時年齢と日本人一般の平均寿命

	①1971~1980		②1981~1990		③1991~2000	
	男	女	男	女	男	女
A 糖尿病患者 (平均死亡時年齢)	63.1歳	64.9歳	66.5歳	68.4歳	68.0歳	71.6歳
B 日本人一般 (平均寿命)	73.4	78.8	75.9	81.9	77.6	84.6
A/Bに比べての年差	-10.3	-13.9	-9.4	-13.5	-9.6	-13.0



チェック!
糖尿病の増加は著しく、慢性合併症によりQOLが低下するとともに生命予後が不良となります。わが国においては、過去30年にわたって10年ごとに



糖尿病患者の死因と平均寿命

日本人平均寿命より男性で約10歳、女性で13歳も短命!
アンケート調査をもとにした糖尿病患者の死因の全国集計が行われてきました。今回は最も新しい1991~2000年における死因調査の結果を報告します。アンケートで得られた全症例18,385名での死因の第1位は悪性新生物(34.1%)、第2位が血管障害(糖尿病性腎症・虚血性心疾患・脳血管障害)26.8%、第3位は感染症(14.3%)でした。悪性新生物の中では肝臓癌が最も高率であり、感染症の中では肺炎(感染症の67%)が主でした。糖尿病性昏睡(1.2%)、低血糖昏睡(0.4%)は比率的には少ないものの、10年間約300名が昏睡で死亡しており、

編集後記

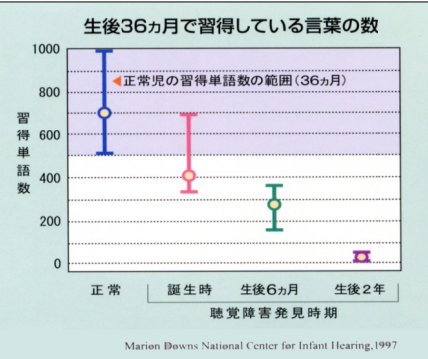
今年は八雲も夏らしい天気
があまりなかったですね。
学校も始まって、インフル
エンザも流行しそうな気配
がありますので皆さま体調
管理は万全にしましょう。
新聞は早くも第3号です。
長い道のりですが1号ずつ
積み重ねていきます。
是非応援してくださいね。



赤ちゃんの耳の話

新生児聴力障害は出生数1000に対し1~2件と高い頻度で見られます。新生児聴力障害の半数はハイリスク児(家族に難聴者、低出生体重児、頭・顔面の奇形、染色体異常など)ですが、残りの半数はハイリスク児ではないため早期の発見が難しく、これまでは、検診などで言語能力の発達に遅れがみられることで発見されることが多くありました。

言語能力の発達には生まれてから2~3歳までの時期が非常に重要であり、遅くとも3カ月



までに聴力障害を発見し、6ヵ月までに療育を開始することが望ましいといわれています。聴力障害を持って生まれた赤ちゃんは十分な聴覚刺激を受けることができません。そのため、そのままだけに言語能力を完全に発達させることができないのです。

現在多くの施設で新生児に対して聴力障害のスクリーニング検査が行われており、当院検査室でもAABR(自動聴性脳幹反応)検査というものを行っています。

2009年9月
第3号
発行元 八雲総合病院
臨床検査室



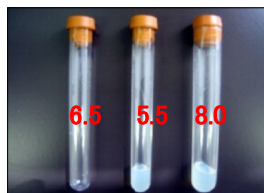
ほと time

中富良野にはメロンを半分カットして、種を取り除いたところにソフトクリームを入れて食べるスイーツがあるのだとか!他にもブランディを入れたり、凍らせるなどして食べるそうですよ。なんて贅沢な食べ方なんでしょう!!

検査の基本

シリーズ採血管その③

生化学検査用採血管(黄土色キャップ)は、主として8ミリットル用・5ミリットル用分離剤入と6.5ミリットル用分離剤なし(主に薬物濃度検査に使用)の3本です。溶血は検査結果に影響が出ることがあります。日常検査では強度溶血の場合、状況により再採血の依頼をしておりますので、ご理解いただきよろしくお願い致します。



(Diabetes Frontier No.4よ)